

# 全8回シリーズ：オンラインセミナー 生命科学論文の書き方update

※本セミナーはオンラインで開催されます。  
※1回のみ参加も可能です。

対象：広島大学の研究者（各回定員100名）  
※大学院生も参加可  
新任教員研修プログラムの対象です

## 概要

本セミナー内容は、生命科学系のトップジャーナル30誌に掲載された300論文のそれぞれを、12のパート(**Move**)に分割して作成した論文コーパスを、定量的に解析した結果に基づいている。生命科学論文のIntroductionでは、「研究対象の紹介・定義」→「先行研究の紹介と問題点の提示」→「本研究の紹介」と順に述べていくのが一般的であり、このような流れを**Move**と定義する。一方、Resultsの構成は、最初に各実験を行う目的や方法の概略を述べ、次に具体的な結果を述べ、最後に結果の解釈を述べるという**Move**の繰り返しからなる。決められた枠組みの中で、どのような意図を持って論文を組み立てていくべきなのか？ 昨年に実施したセミナーの内容を元に、最新の分析データを加えてアップデートする。

## 講師



河本 健

ライティングセンター 特任教授

大阪大学大学院博士課程修了。医学博士。専門は分子生物学と英語論文コーパス研究。ライフサイエンス辞書プロジェクト (<https://lsd-project.jp/>) のメンバー。著書は、「トップジャーナル395編の『型』で書く医学英語論文」など多数。

## セミナースケジュール

### 2022年

- 【第1回】 2月10日(木) 18:00~19:30  
「論文の構造とIntroductionの**Move**分析」
- 【第2回】 2月17日(木) 18:00~19:30  
「Introductionのストーリー展開のための基本技術」
- 【第3回】 2月24日(木) 18:00~19:30  
「Introductionの流れを作る基本構成と定型表現」
- 【第4回】 3月3日(木) 18:00~19:30  
「**Move**分析が示すResultsの基本構成と定型表現」
- 【第5回】 3月10日(木) 18:00~19:30  
「Resultsのストーリー展開を作る**Move**冒頭表現  
／ **Move**分析が示すDiscussionの基本構成と定型表現」
- 【第6回】 3月17日(木) 18:00~19:30  
「**Move**分析が示すDiscussionにおけるストーリー展開のポイント  
／ Discussionのまとめ方とIntroductionとの対応」
- 【第7回】 3月24日(木) 18:00~19:30  
「**Move**分析が示すMethodsの特徴と書き方／Titleの付け方／Abstractの書き方」
- 【第8回】 3月31日(木) 18:00~19:30  
「文の組立て方とライフサイエンス辞書コーパス活用法」

※Microsoft Teamsを利用します。参加ご希望の日にちを選んで参加登録を行ってください。